

2024 年度 第 1 回 浜松市総合教育会議 次第

日時：2024 年 8 月 26 日(月) 15:30～

場所：庁 議 室

1 開会

2 市長あいさつ

3 2024 年度の協議事項 資料 1

4 協議事項
浜松市教育推進大綱について 資料 2

5 報告事項
第 4 次浜松市教育総合計画の進捗について 資料 3

6 閉会

2024年度 第1回 浜松市総合教育会議 出席者名簿

役 職	氏 名
浜松市長	中野 祐介
浜松市教育長	宮崎 正
浜松市教育委員会委員（浜松市教育長職務代理者）	黒柳 敏江
浜松市教育委員会委員	田中 佐和子
浜松市教育委員会委員	神谷 紀彦
浜松市教育委員会委員	鈴木 重治
浜松市教育委員会委員	下鶴 志美

※順不同、敬称略

2024 年度の協議事項について

回	日時等	協議事項/報告事項
1	8 月 26 日（月） 15 時 30 分～17 時 庁議室	協議事項 ・ 浜松市の教育推進大綱について 報告事項 ・ 第 4 次浜松市教育総合計画の進捗について 【論点等】 ○ 教育推進大綱について 新たな大綱の具体的な案を提示し協議
2	12 月～2 月予定	協議事項 ・ 浜松市の教育推進大綱について ・ 不登校児童生徒及び外国人児童生徒への支援について 【論点等】 ○ 教育推進大綱について 大綱を決定 ○ 不登校児童生徒及び外国人児童生徒への支援について 不登校児童生徒及び外国人児童生徒数の推移を踏まえた今後の支援策について検討

※現時点の内容であり、今後の状況により変更になる場合があります。

浜松市教育推進大綱（案）

浜松市は、広大な市域にそれぞれの地域の特色や魅力があり、産業基盤は厚く、豊かな自然環境に囲まれ、温暖な気候で暮らしやすいなど、多くのポテンシャルを持つ創造性あふれるまちです。中でも、市民に根付く「やрмаいか」のチャレンジ精神は、本市が発展してきた原動力であり、一番の強みです。

この素晴らしいまち浜松の未来を担うこどもたちが、自らの可能性を最大限に広げ健やかに成長できるよう、地域や社会全体で育てていくとともに、市民の誰もが生涯を通じて学び続け、わがまちを誇りに思い、自分らしく生きられる社会を目指します。

年齢、性別、国籍を問わず、すべての市民が幸福を実感し、何世代にもわたって住み続けたいと思えるまちを実現します。

◇ 次代の浜松をつくる人材を市民協働で育成します

- ・学校・園、家庭、市民活動団体、地域など社会全体で助けあい、支えあい、学びあうことで、互いに成長できる機会を創出します
- ・地域の魅力や価値を学び、地域への愛着や誇りを持ち、浜松の未来を担う人材を育成します

◇ こどもが成長できる環境を整え、豊かな学びと健やかな育ちを支えます

- ・不登校、外国籍、障がいのあるこどもへの支援や、いじめの未然防止や見逃しを防ぐなど、誰もが安心して教育が受けられる場を整備します
- ・すべてのこどもが社会性や自己肯定感を高め、将来に夢や希望を持つことができる社会を実現します
- ・デジタルツールを活用した学びを充実していきます

◇ 多様な人々が創造性を発揮できる社会を形成します

- ・市民一人ひとりが描く夢や未来の実現に向けた、新しいチャレンジを後押しします
- ・音楽、芸術、スポーツ、伝統文化などを通じて生涯学習の機会を創出します
- ・互いの個性や文化を理解し、尊重し合いながら、住民の多様性を活かすまちづくりを推進します

第4次浜松市教育総合計画 体系図 《2025(令和7)年度～2034(令和16)年度》

社会情勢・国の教育の動向

- ・アフターコロナ ・VUCAの時代
- ・少子化・人口減少 ・グローバル化の進展
- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展
- ・第4期教育振興基本計画(令和5～令和9年度)
- ・令和の日本型学校教育 など

第3次浜松市教育総合計画の成果・課題

- キャリア教育を核とした人づくりの推進(全市展開)
- ICT教育環境の充実やICT活用能力、情報モラル意識の向上
- 支援を必要とする児童生徒への支援充実(発達支援学級等の拡充)
- スクールカウンセラーなど専門人材による相談体制の充実
- コミュニティ・スクールの導入(市立小中学校全校)
- 支援を必要とする児童生徒の増加への対応(多様な学びの場の確保等)
- ICTを活用した学び・支援の充実
- 学校施設の老朽化対策と新たな学びを実現するための一体的整備
- 学校における働き方改革の更なる推進(校務DX等) など

基本理念

描く夢や未来の実現

主体性

物事を自分事としてとらえ、目前の課題の解決や、描く未来の実現に向けて粘り強く取り組む

多様性・包摂性

一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重しあいながら、誰もが活躍できる環境を実現していく

信頼・協働

それぞれの立場の人が、人や組織に信頼を置き、協働したり、相互に作用したりして、よりよい関係性を構築していく



目指すこどもの姿【自分らしさ・他者との協働・自己調整】

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できるこども
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

目指す教職員の姿

- こどもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

市の関連計画等

浜松市総合計画

浜松市教育推進大綱

浜松市生涯学習推進大綱

浜松市文化振興ビジョン

(仮称) 浜松市こども計画

浜松市スポーツ推進計画

浜松市文化財保存活用地域計画

浜松市子供読書活動推進計画 など

方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり

政策1 未来の創り手に求められる力の育成

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな心身の育成
- 4 グローカル人材の育成
- 5 情報活用能力の育成
- 6 持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成
- 7 育ちや学びをつなぐ教育の推進

政策2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

- 1 多様なニーズに対応したこども・保護者への支援
- 2 特別な支援を必要とするこどもの学びや支援の充実
- 3 不登校児童生徒の学びや支援の充実
- 4 外国につながるこどもの学びや支援の充実
- 5 多様な才能・個性を伸ばす機会の提供

方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり

政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

- 1 志ある優れた教職員の確保
- 2 専門性を有する質の高い教職員の育成
- 3 多様な支援スタッフの配置
- 4 教職員がいそいそと働ける環境の整備

政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

- 1 新しい時代の学びを実現する学校施設等の整備
- 2 学校安全の推進
- 3 中山間地域等における教育環境の向上
- 4 学びの機会確保に向けた支援
- 5 いじめの問題への対応

方針Ⅲ こどもの学びや育ちを支える連携・協働

政策5 多様な人材・主体との連携・協働

- 1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 2 魅力ある地域人材や団体等との連携
- 3 家庭教育支援の推進
- 4 放課後の居場所づくり

教育DXの推進

教育データの利活用

教えて！第4次浜松市教育総合計画

本資料は、教育総合計画の意味や役割、目指すこどもや教職員の姿のほか、計画の政策や施策等を分かりやすく説明します。



Q 『第4次浜松市教育総合計画』ってなあに？

- ・教育基本法第17条第2項に基づく**浜松市の教育に関する計画**です。
 - ・**今後10年間（令和7年度～16年度）**の教育政策の方向性や目標、施策などを定めています。
- 本計画は、予測困難な時代において、こどもやこどもの成長を支えるすべての人たちが、将来に向かって共に歩んでいくための**道しるべとしての役割**を果たすものです。

Q 計画の基本理念とねらいは？

基本理念 描く夢や未来の実現

主 体性

物事を自分事としてとらえ、目前の課題の解決や、描く未来の実現に向けて粘り強く取り組む

多 様性・包摂性

一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重しあいながら、誰もが活躍できる環境を実現していく

信 頼・協働

それぞれの立場の人が、人や組織に信頼を置き、協働したり、相互に作用したりして、より良い関係性を構築していく

こどもやこどもの成長を支えるすべての人々のウェルビーイングの向上

こどもやこどもの成長を支えるすべての人たちが、幸せや生きがいを感じつつ（「ウェルビーイング」とも言います）、それぞれの「夢や未来」を描き、その実現に向けて自ら行動していく存在になってほしいと願い、基本理念を「描く夢や未来の実現」と定め、国の方向性、前計画の成果や課題、本市の現状を踏まえ、上記の「3つのコンセプト」を設定しました。

Q 浜松市の目指すこどもの姿、教職員の姿とは？

【目指すこどもの姿】

前ページの3つのコンセプトを踏まえ、本市の目指すこどもの姿を以下のように設定しました。

浜松市では第3次計画に引き続き、本計画においても「自分らしさ」を重視しています。こどもが自他の「自分らしさ」を大切にしていくことは、他者を認め、協働しながら高め合い、補い合うことにつながっていくと考えます。また、「自分らしさ」を大切に、こども自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定する過程を通して自己実現を果たしていくことは、自らが関わる社会に変化をもたらします。その様は、持続可能な社会を創り出す姿そのものであると考えます。

自分らしさを大切にする
こども

他者と協働し、主体的に
行動できるこども

自己調整しながら、粘り強く
取り組むこども

※自己調整とはこども自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定していく様子を表します。

【目指す教職員の姿】

自己調整しながら主体的に学び続けることは、こどもにも教職員にも求められる学びの姿です。教職員が自らの専門性と指導力を磨き続けると同時にこどもの自分らしさを受容し、こどもの成長を支援する伴走者としての役割を果たしていくことも必要となります。こうした考え方のもと、浜松市の目指す教職員の姿を以下のように設定しました。

こどもの自分らしさを受け
止める教職員

愛情と情熱、規範意識を
持ち続ける教職員

専門性と指導力を磨き続ける
教職員

Q計画ではどのようなことをするのか？

本計画では、**3つの方針**に基づいた**5つの政策**達成に向けて、**25の施策**を推進します。どの施策も様々なデータやデジタル技術の活用（教育DX）を意識して取組を進めます。また、各施策について、毎年、データ等に基づいて振り返り、見直しを行ったうえで具体的な取組を改善していきます。

教育DXとは、学校がデジタル技術を活用して、今までできなかった学習や業務を実現し、時代に対応した教育を進めていくことをいいます。

Q計画の3つの方針と5つの政策とは？

本計画の基本理念「描く夢や未来の実現」や目指すこども、教職員の姿を実現していくために、次の3つの方針を定めました。それぞれの方針の下には、各方針を実現するための政策を位置付けています。

方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり

👉 方針Ⅰでは、こどもに関する政策をまとめています。

政策1 未来の創り手に求められる力の育成

政策2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり

👉 方針Ⅱでは、学校の教職員や学校の環境整備に関する政策をまとめています。

政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

方針Ⅲ こどもの学びや育ちを支える連携・協働

👉 方針Ⅲでは、保護者や地域、NPO等様々な人や機関との連携に関する政策をまとめています。

政策5 多様な人材・主体との連携・協働

Q計画の25の施策とは？

本計画の5つの政策達成に向けて位置付けた25の施策を一覧で示します。

政策1 未来の創り手に求められる力の育成

- 施策1 確かな学力の育成
- 施策2 豊かな心の育成
- 施策3 健やかな心身の育成
- 施策4 グローカル人材の育成
- 施策5 情報活用能力の育成
- 施策6 持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成
- 施策7 育ちや学びをつなぐ教育の推進

政策3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

- 施策1 志ある優れた教職員の確保
- 施策2 専門性を有する質の高い教職員の育成
- 施策3 多様な支援スタッフの配置
- 施策4 教職員がいきいきと働ける環境の整備

政策5 多様な人材・主体との連携・協働

- 施策1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 施策2 魅力ある地域人材や団体等との連携
- 施策3 家庭教育支援の推進
- 施策4 放課後の居場所づくり

政策2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

- 施策1 多様なニーズに対応したこども・保護者への支援
- 施策2 特別な支援を必要とするこどもの学びや支援の充実
- 施策3 不登校児童生徒の学びや支援の充実
- 施策4 外国につながるこどもの学びや支援の充実
- 施策5 多様な才能・個性を伸ばす機会の提供

政策4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

- 施策1 新しい時代の学びを実現する学校施設等の整備
- 施策2 学校安全の推進
- 施策3 中山間地域等における教育環境の向上
- 施策4 学びの機会確保に向けた支援
- 施策5 いじめの問題への対応